

みんな考えてまい!

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー

住民会議ではいろいろな意見やアイデアがでたね。その意見とかは今後…。



この前、3月14日に学識経験者や市民の代表など12人で構成しとる都市マスター策定委員会が行われたんじゃ。そんな中で、住民会議に参加した大塚から西浦まで7地区

の代表の者から、出された意見なんかが直接報告されたんじゃ。わしや、会議の報告を市民がするなんて、今までに聞いたことがないのお。

それで、みんなの想いは伝わったのかな?



住民会議で出たアイデアや意見がすべてマスター

プランに反映されるというもんでもないと思うぞん。じゃが、自分らが住んどるまちを良くしたいと集まって話し合った住民会議だで、想いは委員に伝わったと思うぞん。そりや、短い時間に上手にまとめたいい報告だったでのん。

それじゃ、これからどうなるのか楽しみだね。



「マスタープランをつくるにや、住民の参加と理解にもとづいた主体的な取り組みが必要だで、これからも策



学芸員 小林龍二

魚語を聞き取る

私たち人間が、他の動物と違うところを考えると、人は言葉を使うことだといえます。実際、人間は言葉を使って文明社会を築きました。

しかし、本当にそうなんですか。最近では、鯨やイル

カが、互いにコミュニケーションをして集団行動をしていることは有名です。そして、こうした現象は、水族館の内外でも見ることが出来ます。

例えば、普段、水族館の周りを別々に行動している野良猫たちが、私たちが居ない夜にかぎって集会を行います。

これは、きっと猫版の広報がまごおりで、集会の案内が書かれているのでしよう。ひよつとして、私と同じように毎回締め切りに苦しんでいる猫もいるかもしれませんね。また、水族館内では、1月に来たアシカの「アイ」に先住の「ナナ」がまる1日、声がかかるまで鳴いていました。さらに、館内を見回せば、寄り添って何か話をしているような魚たちの姿を頻繁に見ることが出来ます。「今日の餌は

うまかったね」、「このごろ運動不足でさ」など水槽の中では、さまざまな会話が飛び交っているのかもしれない。

私たち飼育員は、そんな会話を聞き取ることが大事です。その秘訣は、魚たちを穴があくほど観察することなのです。皆さんも水族館に来たら、ぜひ、1匹ずつじっくり観察してみてください。魚たちの面白い会話が聞こえてくるかもしれませんよ。